

## 2019（平成 31、令和元）年度前期

### 「授業評価アンケート」報告書<sup>1</sup>

千葉経済大学 FD 委員会委員長

藤生 裕

分析ワーキンググループ<sup>2</sup>

○黒川 太、河原 礼修、近藤 光

#### 1. 授業評価アンケート実施の概要

##### 1.1. 目的

1990 年代以降の大学改革の中で、教育の質を向上させる手段の一つとして、自己点検・評価や学生による授業評価の実施があげられた。そして、授業評価やアンケート調査などによる学習する側の立場の意見も考慮していくことが推奨されている。千葉経済大学（以下、本学）でも自己評価点検の一つとして、2002（平成 14）年度から授業評価アンケートを実施している。また、2007（平成 19）年度以降、より全学的な点検・評価の必要性の高まりを受け、「授業評価アンケート」を集計し分析するチームを編成し、調査分析及びフィードバックを行ってきた。そして本学では学生の授業評価を授業方法のさらなる向上につなげるため、本年度（2019（平成 31、令和元）年度）よりアンケート実施方法を変更した。それに伴い、授業アンケートの定量的な分析を実施した。従来の調査分析及びフィードバックに加え、定量的に分析結果を検討することで、結果を全学的に授業へどのように反映していくかの示唆を得る手段の一つとして役立てることを目標とする。

##### 1.2. 実施方法

###### 質問項目

授業満足度に加え、履修理由、授業内容への関心、難易度、教授法といった授業内容に関する項目、教員の授業態度に関する項目、および自主学习（授業外学習）の時間に関する

---

<sup>1</sup> 本報告書は河原礼修(2019)「授業評価アンケート結果に関する一考察—千葉経済大学 2019 年度前期実施科目を事例として—」『千葉経済論叢』第 61 号（掲載予定）での分析結果をまとめ、必要に応じて加筆したものである。そのため参考文献・資料や各項目の詳細な内容については河原(2019)を参照されたい。

<sup>2</sup> ○は責任者。

る項目といった質問（項目の詳細は付表 1 参照）

## 実施方法

出席管理システム[i-Compass]のアンケート機能を使用して実施

## 実施期間

原則として前期授業の第 13 週目である 2019（令和元）年 7 月 6 日（土）から 7 月 12 日（金）の各授業時間に行った。この期間に実施することが授業進度上困難な科目や休講科目などについては翌週以降に行った。

## 実施対象

実施対象科目は前期・通年開講授業科目

回答対象者は前期科目の履修者すべてで延べ 11,452 人（全回答数は延べ 8,975 名）

## 2. 分析結果と課題

### 2.1. 主な結果と結果から得られた示唆<sup>3</sup>

#### 度数表や記述統計

全回答で 3.923（全科目 3.919）、ゼミを除いた科目 3.882、ゼミ 4.252（基礎ゼミ 3.959）、ゼミを除く必修科目で 3.821 という平均値である。中央値はいずれも 4 である。このため、やや主観的ではあるが 5 段階評価で 4 前後の平均値が出ているため、本学の授業に対する全体としての満足度は高いと思われる。とりわけすべてゼミの満足度は 4 を超えているので、本学の「少人数教育」における成果が表れたとも解釈できる。

#### 順序ロジットモデルによる分析<sup>4</sup>

履修動機に関しては、おおむね内容に興味がある場合に、授業満足度が上がる傾向にある。全体としては資格取得に関する履修動機も満足度を高める要因となったと考えられる。

授業内容や教授法に関しては、授業内容への興味関心、熱意、教授法の分かりやすさなどが高いと授業満足度が上がる傾向にあり、授業難易度が高いと授業満足度を下げる傾向となった。

授業実施における学生視点からの問題点に関しては、教員の言葉が不快、早口でわかりにくい、質問できる雰囲気ではないなどが、授業満足度を下げる要因の一つとなった。

<sup>3</sup> 度数表、記述統計、相関係数、クロス集計表、順序ロジット分析などを使用している。

<sup>4</sup> 簡易的な記述を行うため、本報告書においては統計・計量的な記述を省略している。

参加度合いについては、授業に参加している割合の多い学生が多いほど授業満足度が上がる傾向にある。一方で、履修者に比べて回答者が少ない状況の授業では、満足度が下がる傾向が見受けられた。

学習時間に関する変数については、学習時間が多くなるほど満足度が高くなるという結果がでている（この点は単純に解釈していない）。

以上のように、おおむね分析前に想定していた通りの結果となった。

## 分析結果から得られた示唆

今回のアンケート分析結果より得られた示唆について、以下に示す。

- ✓ 事前の興味と事後の興味が高いと満足度が高くなる傾向があることから、すでに実施されているシラバスの基準化をより徹底することなどによって授業履修前に学生自身の関心と授業内容にミスマッチが生じにくいようにし、授業を通じて興味関心が継続するようにしていくことが重要である。また、ゼミ選択時の内容（専門性）に対するミスマッチも軽減できる仕組みづくりが必要である。
- ✓ 満足度を下げる要因の一つである「授業難易度」については、履修者自体が少ない科目以外で授業難易度が高く、それでも評価が高い授業を参考としていく必要があると考えられる。
- ✓ 現時点で質問項目の定義が曖昧な点もあるが、教員は「言葉づかい」には気をつけるべきである。
- ✓ 自主学習の時間が多いほど満足度が高まると考えられるが、もし仮にそうであればすべての授業で自主学習時間を増やすような取り組みを実施することが望ましくなる。しかし、自主学習時間が増加しすぎると満足度に負の影響を与える可能性は十分にあり得るため、捉えきれない上限が存在する可能性、あるいはその科目への学習意欲と捉えた方が妥当ではないかと考えられる（今後の課題の一つ）。
- ✓ 総合的な満足度が低い状態が2年連続で続くような科目（例えば、連続して2点台が続く科目）に対しては、担当教員と面談を実施するなどして状況を把握することも必要となりうる。
- ✓ アンケート結果の内容をすべて取り入れる必要はないがカリキュラムの作成に役立てるなどの活用は考えられる（これは分析結果からの示唆ではない）。

## 2.2. 今後の課題

- ✓ アンケート実施法自体に内在する問題点の改善
- ✓ 学生が成績評価とアンケートの回答は関連するのではないかといった懸念を生じさせることなくアンケートに回答できる仕組み作り（例えば、ポータルを導入して、集計機能をつけるなど）

- ✓ 学習時間に関する示唆を得るためのアンケート項目の見直し
- ✓ 質問項目内容の定義を明確とし、判断が難しい質問項目の改善を行う
- ✓ 関連づけられる他のデータも利用して分析する

など

課題はあるものの今年度については、後期もアンケートを実施するのであれば同様の項目で実施した方がより課題や問題点が明確になり、かつ今回のアンケートを基準として扱えと考えられる。

今後は本学に属するすべての教員が **FD** に関わることのできる制度や環境の整備を目指して、本学における **FD** 活動の見直しを続ける必要がある。

## 表など<sup>5</sup>

表1 「授業に対する満足度（5段階）」への回答頻度

全回答				全科目			
q11a	頻度	割合	累積割合	q11a	頻度	割合	累積割合
1	232	2.58	2.58	1	231	2.6	2.6
2	355	3.96	6.54	2	354	3.98	6.58
3	2,085	23.23	29.77	3	2,073	23.32	29.9
4	3,505	39.05	68.82	4	3,474	39.08	68.98
5	2,798	31.18	100	5	2,757	31.02	100
合計	8,975	100		合計	8,889	100	

  

ゼミを除いた科目				ゼミ			
q11a	頻度	割合	累積割合	q11a	頻度	割合	累積割合
1	216	2.7	2.7	1	15	1.68	1.68
2	343	4.29	6.99	2	11	1.23	2.91
3	1,934	24.19	31.18	3	139	15.55	18.46
4	3,176	39.72	70.91	4	298	33.33	51.79
5	2,326	29.09	100	5	431	48.21	100
合計	7,995	100		合計	894	100	

  

必修科目（ゼミを除く）				基礎ゼミ			
q11a	頻度	割合	累積割合	q11a	頻度	割合	累積割合
1	13	1.6	1.6	1	11	4.12	4.12
2	44	5.42	7.02	2	6	2.25	6.37
3	217	26.72	33.74	3	54	20.22	26.59
4	339	41.75	75.49	4	108	40.45	67.04
5	199	24.51	100	5	88	32.96	100
合計	812	100		合計	267	100	

注1) 1:まったく満足していない、2:どちらかといえば満足していない、3:どちらともいえない、4:どちらかといえば満足している、5:たいへん満足している。

注2) 「全科目」については、授業コード7320、8420、8507の3科目で履修者の人数を回答者の人数が上回っていたため、この授業の回答をすべて除外している。同様の理由で、「ゼミを除いた科目」については授業コード7320の回答をすべて除外し、「ゼミ」については授業コード8420、8507の回答をすべて除外している。除外回答数は7320で70、8420で13、8507で3である。

注3) 特別ゼミナール（通年科目）の科目コード8604、8706にコードに対する履修者と回答者の不一致があったが、適切な科目コードでは履修者数を回答者が上回っていなかったため、両科目の履修者数を適切なデータに変更している（8604は0人から2人、8706は0人から1人）。

（出所）「千葉経済大学授業評価アンケート 2019年度前期」より筆者作成

<sup>5</sup> 表の番号は河原(2019)と対応させている。

表2 「授業に対する満足度」に関する記述統計

q11a	全回答	全科目	ゼミを除いた 科目	ゼミ	基礎ゼミ	必修科目 (ゼミを除く)
平均値	3.923	3.919	3.882	4.252	3.959	3.821
分散	0.929	0.930	0.934	0.775	0.995	0.842
標準偏差	0.964	0.964	0.966	0.881	0.997	0.918
中央値	4	4	4	4	4	4
最小値	1	1	1	1	1	1
最大値	5	5	5	5	5	5
サンプルサイズ	8,975	8,889	7,995	894	267	812

注) アンケートの実施方法によりサンプルサイズは回答者数に一致する。

(出所)「千葉経済大学授業評価アンケート 2019 年度前期」より筆者作成

表 5 分析結果①

説明変数	全科目		ゼミを除く科目	
	Coef.	z-score	Coef.	z-score
D_q1_2	0.29521 *	1.87	0.31905 **	1.96
D_q1_3	0.19643	1.45	0.19319	1.38
D_q1_4	0.24689 *	1.80	0.19618	1.36
D_q1_5	0.45264 ***	3.35	0.44362 ***	3.16
q2	0.84752 ***	19.14	0.83404 ***	17.91
q3	-0.11520 ***	-4.49	-0.11621 ***	-4.31
q4	0.44108 ***	10.42	0.44544 ***	10.11
q5	0.84966 ***	17.96	0.86378 ***	17.30
D_q6a1b1	0.71932 ***	3.77	0.81018 ***	4.00
D_q6a1b2	-1.05358 *	-1.85	-1.12312	-1.72
D_q6a1b3	-0.84624 *	-1.69	-1.16384 **	-2.13
D_q6a1b4	-1.80378 ***	-3.92	-1.82684 ***	-3.98
D_q6a1b5	-0.50937 *	-1.65	-0.51824 *	-1.66
D_q6a2b1	0.03715	0.09	0.19226	0.43
D_q6a2b2	-0.07322	-0.20	-0.18621	-0.53
D_q6a2b3	-0.53509 **	-2.28	-0.52066 **	-2.16
D_q6a2b4	-0.03171	-0.10	-0.09224	-0.28
D_q6a2b5	-0.47062 **	-2.03	-0.45351 *	-1.89
D_q6a4b1	0.71534 ***	4.42	0.77694 ***	3.79
D_q6a4b2	0.45532 ***	4.47	0.49112 ***	4.53
D_q6a4b3	0.41096 ***	5.76	0.43614 ***	5.76
D_q6a4b4	0.24749 **	2.31	0.27631 **	2.47
D_q6a4b5	0.37165 ***	4.38	0.43773 ***	4.92
D_q6a5b1	1.90430 ***	8.47	1.71103 ***	5.76
D_q6a5b2	1.33995 ***	9.81	1.42292 ***	9.94
D_q6a5b3	1.26145 ***	12.50	1.34206 ***	12.52
D_q6a5b4	1.17835 ***	7.72	1.21413 ***	7.29
D_q6a5b5	1.23605 ***	11.17	1.31326 ***	11.19
q7a	0.19254	1.42	0.19720	1.37
q7b	-0.76720 ***	-5.25	-0.73727 ***	-4.91
q7c	-0.23504 **	-2.09	-0.22086 *	-1.90
q7d	-0.19491	-1.94	-0.18871 *	-1.78
q7e	-0.03722	-0.28	-0.05734	-0.42

q8a	-0.35294 ***	-3.12	-0.36539 ***	-3.13
q8b	-0.19616	-1.93	-0.18461	-1.77
q8c	-0.05299	-0.55	-0.04966	-0.51
q8d	0.13545	1.14	0.17616	1.41
q8e	0.01449	0.16	-0.00093	-0.01
q9	0.23638 ***	7.99	0.22991 ***	7.36
s_q10a	0.00527 ***	6.92	0.00548 ***	6.60
risyu_kaito	-0.00652 ***	-3.74	-0.00402 **	-2.17
/cut1	3.75647		3.74689	
/cut2	5.31209		5.36473	
/cut3	8.46938		8.53762	
/cut4	11.61996		11.76035	
obs	8,889		7,995	
Log Likelihood	-7656.7279		-6906.5685	
Wald chi2(2)	3,412.10 ***		3,144.54 ***	
PseudoR <sup>2</sup>	0.3338		0.3365	

注) \*\*\*は 1%、\*\*は 5%、\*は 10%有意水準で棄却されることを表す。また、/cut は各カテゴリーの閾値である。

(出所) 推定結果より筆者作成

表 6 分析結果②

説明変数	ゼミ		基礎ゼミ		必修	
	Coef.	z-score	Coef.	z-score	Coef.	z-score
D_q1_2	0.26850	0.39				
D_q1_3	0.39232	0.62				
D_q1_5	0.47522 **	2.42				
q2	0.97829 ***	6.55	0.73031 ***	3.12	0.88033 ***	6.03
q3	-0.14206	-1.54	-0.23426	-1.42	-0.21735 **	-2.37
q4	0.39674 **	2.42	0.52672	1.64	0.46377 ***	2.79
q5	0.64761 ***	4.09	0.74123 ***	2.64	0.72025 ***	4.44
D_q6a4b1	0.22123	0.82	0.98953	2.25	0.37145	0.38
D_q6a4b2	0.31442	1.06	-0.18606	-0.44	0.87783 ***	3.19
D_q6a4b3	0.18022	0.82	-0.20636	-0.58	0.55033	2.15
D_q6a4b4	0.03701	0.10	-0.77693	-0.18	0.77197	2.09
D_q6a4b5	-0.15947	-0.49	-0.16240	-0.24	0.89127 ***	3.13
D_q6a5b1	1.78623 ***	4.62	1.12608	1.60	3.12498 ***	4.00
D_q6a5b2	0.90934 *	1.74	0.57252	0.60	2.04948 ***	5.52
D_q6a5b3	0.75345 **	2.43	0.87388	1.48	1.62140 ***	4.31
D_q6a5b4	0.87264 **	2.24			1.52700 **	2.39
D_q6a5b5	0.80272 **	2.22	0.83539	1.04	1.96109 ***	5.11
q7a	0.11243	0.26	0.14020	0.21	0.20684	0.55
q7b	-1.64582 **	-2.10	-1.34000	-0.99	-0.63281	-1.30
q7c	-0.48047	-0.82	-1.49136 *	-1.76	-0.51986	-1.06
q7d	-0.15796	-0.50	0.12385	0.21	-0.09703	-0.28
q7e	0.07462	0.12	-0.73096	-0.58	-0.33268	-0.73
q8a	-0.19877	-0.38	0.38788	0.37	-0.52117	-1.54
q8b	-0.50369	-0.98	0.27562	0.37	0.36459	0.87
q8c	-0.29322	-0.41	-0.88088	-0.78	0.27137	0.56
q8d	-0.57195	-1.36	0.99171	1.63	0.72952	1.05
q8e	0.09553	0.19	0.11501	0.12	-0.38759	-0.84
q9	0.35104 ***	3.55	0.41871 **	2.50	0.18889 *	1.89
s_q10a					0.00917 ***	3.93
s_q10b	0.00484 ***	2.83	0.00573	1.63		
risyu_kaito	0.05400	1.07	0.06855	0.68	-0.00014	-0.01
/cut1	4.28395		4.80003		2.65522	
/cut2	4.99177		5.42586		4.82539	
/cut3	8.02168		7.90500		8.03411	
/cut4	10.70707		10.76040		11.41476	
obs	894		267		812	
Log Likelihood	-714.7422		-251.6878		-705.5179	
Wald chi2(2)	301.43 ***		121.07 ***		360.56 ***	
PseudoR <sup>2</sup>	0.2925		0.2588		0.3244	

注) \*\*\*は 1%、\*\*は 5%、\*は 10%有意水準で棄却されることを表す。また、/cut は各カテゴリーの閾値である。

(出所) 推定結果より筆者作成

付表1 アンケート項目と変数名

説明変数名	アンケート内容	値	意味	
q1	あなたがこの授業を履修した理由は何ですか	5	内容に興味があったから	
		4	必修科目だから	
		3	時間割上都合がよかったから	
		2	資格取得のため	
		1	その他	
		D_q1_5	内容に興味があったから	1
	D_q1_4	必修科目だから	0	いいえ
	D_q1_4	必修科目だから	1	はい
	D_q1_4	必修科目だから	0	いいえ
	D_q1_3	時間割上都合がよかったから	1	はい
	D_q1_3	時間割上都合がよかったから	0	いいえ
	D_q1_2	資格取得のため	1	はい
D_q1_2	資格取得のため	0	いいえ	
D_q1_1	その他	1	はい	
D_q1_1	その他	0	いいえ	
q2	この授業を受けて、授業の内容に興味や関心を持ちましたか	5	おおいにそうである	
		4	どちらかといえばそうである	
		3	どちらともいえない	
		2	どちらかといえばそうではない	
		1	まったくそうではない	
q3	この授業の難易度は、あなたにとって高かったですか	5	おおいにそうである	
		4	どちらかといえばそうである	
		3	どちらともいえない	
		2	どちらかといえばそうではない	
		1	まったくそうではない	
q4	この授業では、教員が授業に対して熱意を持っていると感じられましたか	5	おおいにそうである	
		4	どちらかといえばそうである	
		3	どちらともいえない	
		2	どちらかといえばそうではない	
		1	まったくそうではない	
q5	この授業の教授法はわかりやすいものでしたか	5	おおいにそうである	
		4	どちらかといえばそうである	
		3	どちらともいえない	
		2	どちらかといえばそうではない	
		1	まったくそうではない	
q6a	この授業では、板書(黒板の文字・図)、教科書(参考書)、配付資料、視聴覚教材(ビデオ、パソコン等)、その他は授業を理解するのに役立ちましたか	5	おおいにそうである	
		4	どちらかといえばそうである	
		3	どちらともいえない	
		2	どちらかといえばそうではない	
		1	まったくそうではない	
		D_q6a_5	おおいにそうである	1
	D_q6a_5	おおいにそうである	0	いいえ
	D_q6a_4	どちらかといえばそうである	1	はい
	D_q6a_4	どちらかといえばそうである	0	いいえ
	D_q6a_3	どちらともいえない	1	はい
	D_q6a_3	どちらともいえない	0	いいえ
	D_q6a_2	どちらかといえばそうではない	1	はい
D_q6a_2	どちらかといえばそうではない	0	いいえ	
D_q6a_1	まったくそうではない	1	はい	
D_q6a_1	まったくそうではない	0	いいえ	

説明変数名	アンケート内容	値	意味	
q6b	それは具体的に何ですか	5	板書	
		4	教科書	
		3	配布資料	
		2	視聴覚教材	
		1	その他	
	D_q6b_5	板書	1	はい
			0	いいえ
	D_q6b_4	教科書	1	はい
			0	いいえ
	D_q6b_3	配布資料	1	はい
			0	いいえ
	D_q6b_2	視聴覚教材	1	はい
		0	いいえ	
D_q6b_1	その他	1	はい	
		0	いいえ	
q7a	教員が質問に答えてくれないことがありましたか	1	はい	
		0	いいえ	
q7b	教員の言葉で不快になったことはありますか	1	はい	
		0	いいえ	
q7c	教員の言葉が早口でわかりにくいことはありましたか	1	はい	
		0	いいえ	
q7d	教員の声が聞き取りにくいことがありましたか	1	はい	
		0	いいえ	
q7e	出席の取り方に不満はありますか	1	はい	
		0	いいえ	
q8a	教員に質問ができる雰囲気でないと感じたことはありますか	1	はい	
		0	いいえ	
q8b	授業中に学生が授業を妨害するような行為はありましたか	1	はい	
		0	いいえ	
q8c	授業中に学生の入退室が頻繁にありましたか	1	はい	
		0	いいえ	
q8d	授業が定刻より10分以上遅れて始まったり、早く終わったりすることが数回以上ありましたか	1	はい	
		0	いいえ	
q8e	授業中に学生の私語は多かったですか	1	はい	
		0	いいえ	
q9	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか	5	すべて出席	
		4	8割～9割くらい出席	
		3	6割～7割くらい出席	
		2	4割～5割くらい出席	
		1	1～3割くらい出席	
s_q10a	あなたはこの授業科目に関して、授業時間以外に1回あたりどのくらい自主学習をしましたか	120.0	120分以上	
		112.5	105分以上120分未満	
		97.5	90分以上105分未満	
		82.5	75分以上90分未満	
		67.5	60分以上75分未満	
		52.5	45分以上60分未満	
		37.5	30分以上45分未満	
		22.5	15分以上30分未満	
		7.5	15分未満	
0	0分			

説明変数名	アンケート内容	値	意味
s_q10b	自主学習時間のうち、授業内で課された課題についてはどのくらい時間をかけましたか	120.0	120分以上
		112.5	105分以上120分未満
		97.5	90分以上105分未満
		82.5	75分以上90分未満
		67.5	60分以上75分未満
		52.5	45分以上60分未満
		37.5	30分以上45分未満
		22.5	15分以上30分未満
		7.5	15分未満
		0	0分
q11a	この授業を総合的に評価して、どのくらい満足していますか	5	たいへん満足している
		4	どちらかといえば満足している
		3	どちらともいえない
		2	どちらかといえば満足していない
		1	まったく満足していない
	そうした評価をする具体的な理由は何ですか		
	この授業を受けて良かった点があれば、具体的に記入してください		
	この授業を受けて改善してほしい点があれば、具体的に記入してください		

(出所) アンケート調査表より筆者作成